

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算      支出科目 款：労働費    項：職業訓練費    目：職業訓練校費

### 事業名    情報システム等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課人材育成係    電話番号：058-272-1111(内 3126)

E-mail： c11367@pref.gifu.lg.jp

1    事業費                    10,324 千円（前年度予算額：10,324 千円）

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,324	0	0	0	0	0	0	0	10,324
要求額	10,324	0	0	0	0	0	0	0	10,324
決定額	10,324	0	0	0	0	0	0	0	10,324

## 2    要求内容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

国際たくみアカデミー（美濃加茂市）、木工芸術スクール（高山市）の各校における、ITを活用した授業、学生の就職活動支援に活用するための情報システム（通称：国際たくみ情報システム）の機器等を賃借し、維持管理業務を委託する。

### (2) 事業内容

国際たくみ情報システムの構築及び賃貸借・維持管理業務委託

### (3) 県負担・補助率の考え方

県

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,551	保守料
賃貸借・使用料	6,773	賃貸借、使用料
合計	10,324	

#### 決定額の考え方

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 職業能力開発促進法に基づき設置・運営している県立職業能力開発訓練施設において、ITを活用した授業、学生等の就職活動支援等に活用する。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

職業訓練の実施に必要なIT機器について整備するものであり、数値的な指標を設けることは困難である。

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 国際たくみアカデミー及び木工芸術スクールにおいて情報システムを活用した授業及び就職活動支援等を実施した。

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 国際たくみアカデミー及び木工芸術スクールにおいて情報システムを活用した授業及び就職活動支援等を実施した。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	職業訓練を実施するにあたり、学習、研究、指導、連絡等で利用するネットワーク環境を整備する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	パソコン機器及びネットワーク環境を整備することにより、訓練に必要な情報収集、情報共有などに活用した訓練を実施することができる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	学生も使用するパソコン機器及びネットワーク環境のセキュリティ管理及び機器の借上げを行うことにより、適正な環境での訓練実施することができる。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 IT技術の進歩等に対応して行くため、情報システムの整備を適切に行って行く必要がある。AIへの対応も含めた訓練を行っていく。 オンライン訓練を行うためにもシステムの使用状況等の改善を行っていく。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 職業訓練における情報システムの必要性を踏まえ、計画的な整備を実施していく。特に、新型コロナウイルス感染症対策に必ず必要なシステムであるため、この事業を訓練の改善に取り入れて行っていく。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	